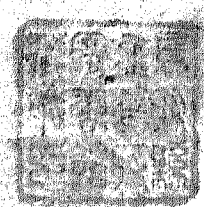


610
1711

竹嶋之書附



8438

8065

享保九御年同寅月十音
 公義
 竹鴻之書附
 三通



44. 7. 26

見申不地大なるを予の船に相見ふ所書し
好の母母七日後田浦より新島津の志
船二艘より内を捜索して船を捜索浮船
看りし朝鮮人三斗斗見申る者浮船
余母より船より八九回沖と無り大坂浦
中京事山者内式入陸し後看りし者
小船小舟系此方より好く事申りし相見
相見し所なる内を(通稱)て朝鮮中内
知てらんかとの者より此母母に及後
公義に遂に免毎年改改海に信て其書
弟の事と相見し所此母母より高り得有
困るより三年より一度免地免事より有昔
桶船拾二艘改出船の事遭難風の艘人救
宥給る母母三月廿二日流者より母母より地
より二舟改送面桶は申りし九より早る後
山原中より母母に船の務り山原給は出船
の信申りし母母より者落台より見分は免事
母母より母母に送道具桶船八艘見申る

通稱は此の集録の浦の口一帯に
竹藪あり二月七日古船は能く修繕難
故に舟中地少細浪中其の味苦なり
舟は舟出船は月百葉と名付帆は舟
朝鮮の地塊の類也其の舟は舟
其節流は舟の類也舟は舟

元禄八年十二月廿四日
御尋之由書付字少紙と云進

所居は是祖領地より以前より
但之後に改めし事

竹藪名大方河津の浦に人居住
作事

竹藪台澳採人集録は此の我集録
集録又名打取集録と云

通稱は倭に倭集居るを浦と曰ふは事
竹島より二月廿七日古船は倭船に接し朝鮮
板香半地少細瀬中其の味香かきし事
在りし古船は二月廿七日古船は倭船に接し
朝鮮に可接地之類也其具名亦古船に
其節流津に船頭水手皆古船に接し

一 倭に倭集居るを浦と曰ふは事
竹島より二月廿七日古船は倭船に接し朝鮮

覺

- 一 因列伯列の故竹島より其の故國に
所居は是祖領地也其の故國に
但之後の故國に事
- 一 竹島古大方河津に古船に人居る
作事
- 一 竹島古漢採人集居るは此の故國に
集居るは古大方河津に古船に人居る

一 和教宗の事

一 三百年以来朝鮮の事

一 西人との交渉の事

一 不承名と改名と打續きの事

一 一女子と不相識の事

一 先年事河内と和教宗の事

一 善の事

一 竹嶋と外西國の所屬の事

一 乞又漢採の事

一 右の事

十二月廿三日

一 和教宗の事

一 竹嶋廻凡八九里の事

一 竹嶋と漢採の事

一 毎年と和教宗の事

大小二艘系年

一 宣統以前中奉朝鮮人及俄人系居俄帝
北領地系在俄領地中。宣統以前奉
朝鮮人系居俄領地中。朝鮮人
在俄領地中。宣統以前奉
中奉朝鮮人及俄人系居俄帝
北領地系在俄領地中。宣統以前奉
朝鮮人系居俄領地中。朝鮮人
在俄領地中。宣統以前奉

一 宣統以前中奉朝鮮人及俄人系居俄帝
北領地系在俄領地中。宣統以前奉
朝鮮人系居俄領地中。朝鮮人
在俄領地中。宣統以前奉

一 宣統以前中奉朝鮮人及俄人系居俄帝
北領地系在俄領地中。宣統以前奉
朝鮮人系居俄領地中。朝鮮人
在俄領地中。宣統以前奉

大小二披系集

1

一 元源六醜年二月下旬伯春園并出如三月

初七日雲園雲津如如月十六日臨安治後
福浦山如回十七日竹海若岸位遊朝鮮人
大塘看戶付陸三下准以集信意子得
中方有額之相是中者氣下款者氣

1

中年後所為後海一候九之題作

一 元源六醜年二月下旬伯春園并出如三月
初七日雲園雲津如如月十六日臨安治後
福浦山如回十七日竹海若岸位遊朝鮮人
大塘看戶付陸三下准以集信意子得
中方有額之相是中者氣下款者氣

下是の事清書の字を以てしる

一 竹海の渡海船 津波の事相を以て後記する

一 村川市東大屋九左衛門清書比の事相を以て後記する
其後記の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する

九月廿二日

同年六月廿七日 松平公清書比の事相を以て後記する

是

右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する

一 右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する

一 右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する
右の事相を以て後記する

對列之海邊... 此後之海邊... 引國利... 來... 亦和...

一 存和... 串炮... 竹筒... 沖之...

高橋...

先年松葉... 願知... 町人村... 竹筒... 漢作... 制...

對列
山
列國列
來
一 右和
串炮
一 竹
中

信
流

公

戶

月

河

久

右
沙

順
村
後
向

名

人

城

炮

對列
列圓列
來
右和
串炮
竹炮
中

信
公
清

公

月

日

所奉書
松平
願知
村
濱海
向

島

人

信

炮

炮

對列
山
列國
來
右和
串
竹
卜

信
宿

松

月

久
河
戶
去
一

為
人
後
站
物

元祿
四月廿六日

小

一 對列
一 右和
一 串炮
一 竹炮

二月廿八日

集伯著

信
宿

信
宿
解人
炮

元祿

四月廿八日

小笠原藩元祿竹炮書附

一 松濤寺の竹濤は四十里

以上

子
正月廿日

別紙

一 松濤寺の竹濤は四十里海路百五十里

一 松濤寺の朝鮮は八十里海路百五十里

及兼山事

一 松濤寺の竹濤は四十里海路百五十里

兼山事

一 松濤寺の竹濤は四十里海路百五十里

海路百五十里海路百五十里

不取公事尤出雲國路及由者忘事

とのと同松濤寺事

以上

二月廿七日

伯耆守某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐
船子某子一町人太左衛門村川市唐

以上

二月廿七日

冲奉書之字

先年松平新左衛門因列伯列知事
相繼一伯列知事之可一村川知事
大屋長吉竹尾清海平介清海
白旗竹尾清海之制事一竹尾
伯列知事之長吉長吉之清海

大屋相繼

三月廿一日

戶田山崎

竹尾清海

大久保新吉

松平伯耆守

竹器之紙

和紙

御尋之書附之通

川口紙

川口紙

川口紙

川口紙

川口紙

Vertical text on the right side of the page, possibly a title or a long inscription.

伯恭 九里 允福 竹溪 大挺 同泰 名同 人部

逐中... 沙書... 洪... 亥... 楷... 沙... 身...

浦... 金... 水... 作...

一 卷子心書

出松之海濱

作名海年

一 元祿元年

史官部

松次水

松次水

一 皇年

松次水

松次水

一 海

松次水

一 成

松次水

一 朝

一 伯

九

元

竹

大

同

名

人

浦之松路

松次水

松次水

松次水

松次水

松次水

舟載其民竹篙如解人
大概似拾人獲食有秋
相見事如
名一適法學
志一修之
江行海

六月廿日

覺

- 一 伯耆國弟子之山雲園雲津浦之松路
九里陸路七里半之町
- 一 元祿輕年弟子高入村川市舊大屋之卷
竹篙(松路)山節松額水自式拾之(法地)
大挺式(石)半棒(船)被遺(山)作
- 一 同(輕)年(松路)山節(松)教(松)水(之)教
右(同)制(其)節(朝鮮)人(大)獲(者)作(為)左
人(教)信(之)相(受)是(已)事(也)

一 曰七卯年曰八丑年各五年後海之節家
 船數船額水之數因形竹海常朝舞人
 年之増益之相是也山亥之年之可也小
 宗拾之或平之可也法之文海之相是也山
 一 竹海海前之各船或艘年之山其節之
 法炮八九挺也山竹海法炮造之海
 子らとる中法炮中て山山付也山山
 其外ら夫死道具未也山山山山山山
 山山

享保九卯年六月

一 竹海小とる也依て東後海之船額
 水之たに相為見念ふとれと也書為在
 中作子ら其外多歎竹本常額元海
 山山山

竹本之類

六巻の松 まいごの 椿 けやま

相竹 おきく 分目かおきく

栴檀 木の葉を布く 咲くらからか たいそら 葉の木の木 木の竹 木の竹の

柀 葉目か 柀の がび あぶら

糸類

ぬき うら うと ゆり

こわ あとも ぶみ いちこ

い おきく 分目か

光 日本料理 たく 日本の光たくと

鳥獣類

みち 祢 氣 山 雀 雀

鳩 ひよこ お ひよ 口 雀

お もめ 鶴 は 鶴 ふ

其 外 鶴 類 地 おきく 分目か

朝鮮人習渡海住居小島等

一 伯耆國より竹嶋と海と百六十拾里竹嶋より朝鮮へは定拾里程と有は度也渡海水之在中非从之

覺

元禄六年五月廿五日 和學堂(一)

一 伯耆國米子と中本より竹嶋と海と百六十拾里程有之由例年米子松島雲と米子及國と渡海也竹嶋と渡中本米子より中本竹嶋と渡山成り中本

一 村川市と海と陸と右馬山高地と云哉

竹目見也 伯耆國竹嶋地獻之也

一 竹嶋と海と陸と右馬山の伯耆國と云哉

一 名友人（町人）在島嶼より相調り申す

一 竹橋と海難の公と及地と油と住及岸の公
高貴仕の尤油と連と公と申す

一 竹橋と離橋と人使指と公と住公尤伯春と
支配と申す

名と通と申す

一 竹橋と渡海と及老細家傳と相記申す

一 竹橋と渡海と 沖米申す
候相尋は是下申す 沖奉書と申す
國許有と申す

一 竹橋と渡海と 沖紋と申す
相記申す

一 村川市表と金と書と沙南地と申す

一 沖目見申す
申す

一 村川市表と金と書と沙南地と申す

一 一夜元と申す

多々毎國元口遺張等下上

六月廿三日

一 江戸の町並み

江戸の町並み

一 江戸の町並み

江戸の町並み

江戸の町並み

伯耆國

竹嶋

三行村

限成園

坂浦

新渡

北津

伯耆國 新渡 教皇里田寺

竹嶋 朝野

江戸の町並み

竹嶋

右左の村川

清後清古出雲守

梁木松橋也

同清是も清く

右左坂浦

水浦

右左坂浦

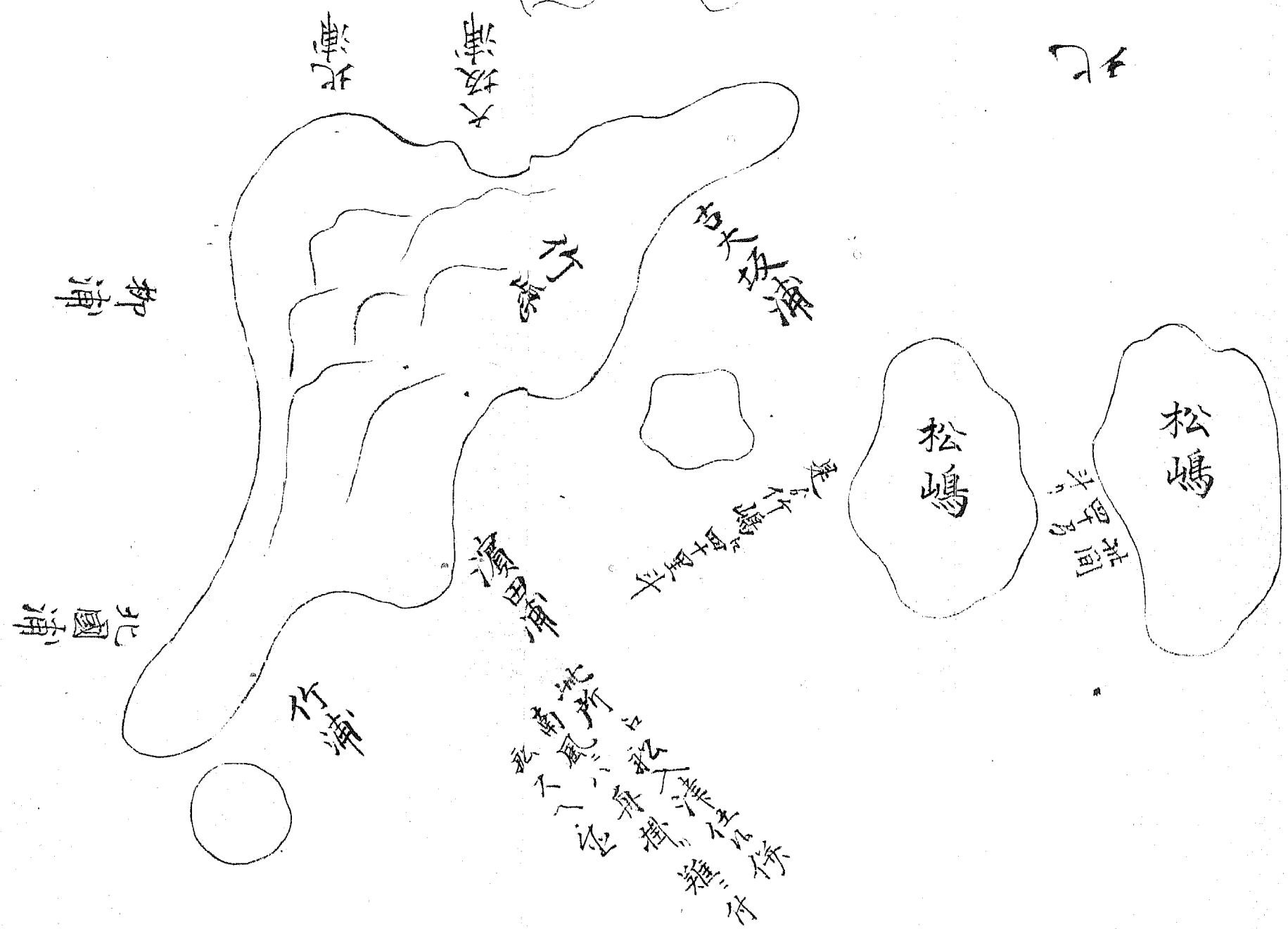
は合竹清は清く用三

溪田浦 此亦松入は清く

是も竹橋の田の浦の清く

古古坡浦

竹嶋居保久
 伯列米子竹寫也舟路百世里存
 竹寫朝鮮近四十里

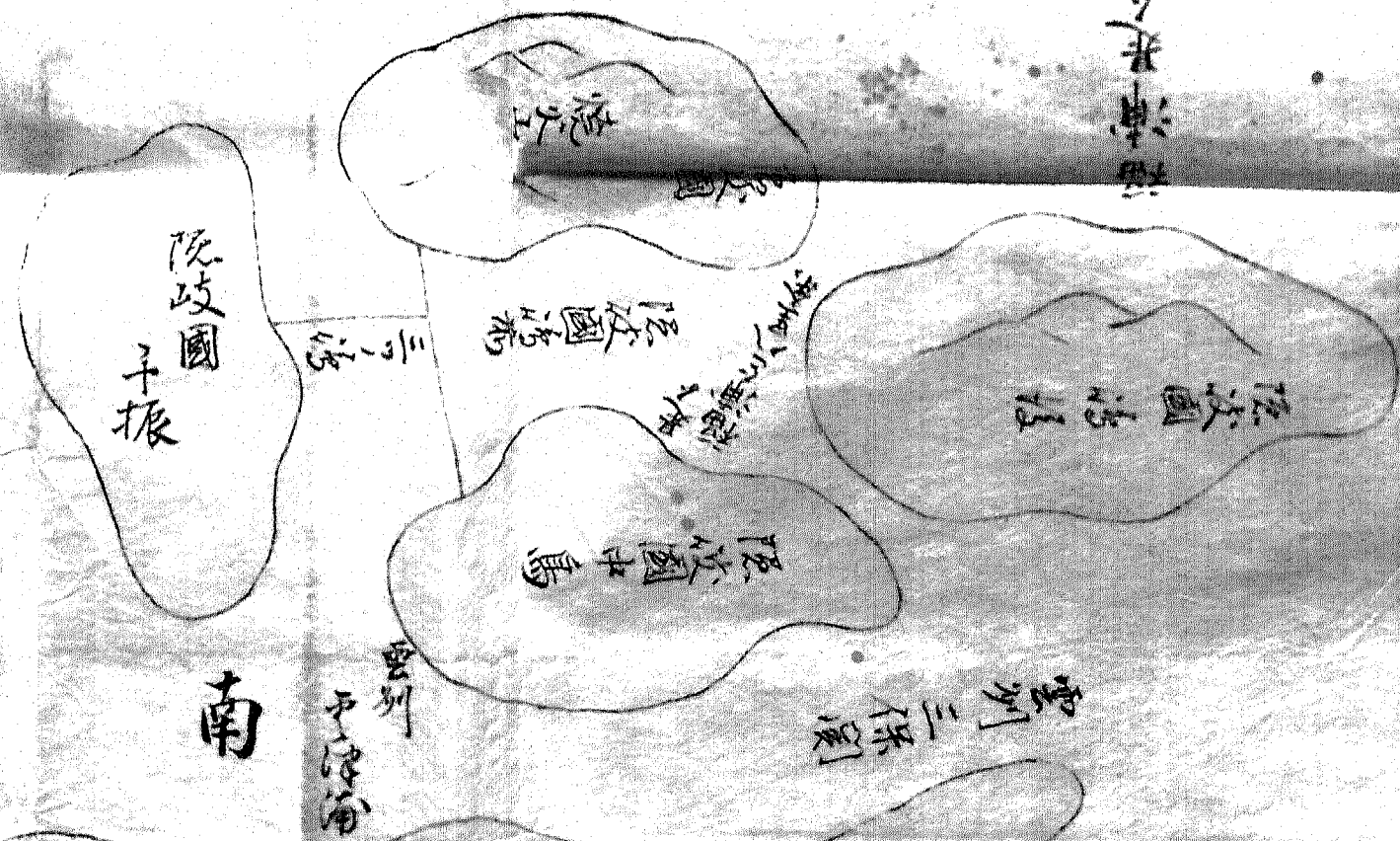


西

嶋
嶽

國

是竹嶋所居人其地不與他島通氣不通舟車不通



此島所居人其地不與他島通氣不通舟車不通

伯列米子竹寫也舟路百世里存

古古坡浦

上海華英書局

自製... 自製... 自製...

127

